



平成28年は初雪も早く伏籠川の堤防では根雪になっています。これからが冬本番。病院玄関前までの道のりの除雪にもせいができます。歩行にもお気をつけて下さい。

### 平成28年の五稜会病院

平成28年もあつという間に過ぎ去ろうとしています。今年の1年を振り返ってみます。

- 1月 申年の年男・年女のｽｯﾌﾟ多数、新年交礼会
- 2月 自死症例検討会開催（札幌医大河西千秋教授講演）
- 3月 大升宏一先生、非常勤で勤務開始
- 4月 藤井英介先生着任、新人入職、教育ｽﾈｰ開催
- 5月 病院機能評価更新のための受審、雷で病院停電
- 6月 札幌市教育委員会管理職研修会講師（中島公博）
- 7月 北海道病院学会、互助会初夏の小旅行（小樽・余市）
- 8月 GMC Summer Music Festa、日本精神神経学会ｽｰｽｸｰﾙ
- 9月 第10回五稜会ふれあい祭り、五稜会杯ｺｰﾙﾄﾞﾊﾞ  
日精協学術研修会（看護部門）
- 10月 山口折先生、日本精神神経学会専門医認定  
第21回日本ｽﾄﾚﾝｸﾞｽ病棟研究会（福井）参加
- 11月 第5回日本精神科医学会（仙台）参加、ｷﾞｰｸﾞ大会
- 12月 大忘年会、診療総括（外来、入院者数とも前年度同様）  
医療法人社団五稜会病院理事長：中島公博

### 五稜会病院の理念

#### 情熱と個々への配慮

- 1 患者さんの病前の社会背景と病状を理解し、個々を尊重する治療に努める。
- 2 医療の情報開示を行い、患者さんとの信頼関係を大切に医療を行う。
- 3 地域医療連携を密にし、精神科・心療内科の基幹病院としての役割を担う。
- 4 臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める。

### 学会・研究発表

当院の研究発表については病院のホームページにも掲載しておりますのでご覧下さい。私たちは最新の医療を提供出来るように、日々努力しております。平成28年度も様々な学会・研究会に参加しました。当院の開かれた医療の実践報告をしています。

平成28年11月16日

#### 第5回日本精神科医学会学術大会 仙台

- 「キャリアデザインの発想を取り入れたソーシャルプログラム」 春名大輔
- 「精神科看護師がより積極的に薬の心理教育に関わっていくために」 山本杏奈
- 「待ち時間調査から見る新棟の外来空間と機能の現状と課題」 井出瑞門

平成28年11月29日

#### 第14回五稜会病院院内学会 研修室

- 【特別講演】  
「これからの精神科医療～精神障害者の意思決定支援・アドボカシー～」  
理事長：中島公博
- 【一般演題】
- 1) 「家族背景からみえた「機能不全家族」という問題を振り返ってみて」  
吉田貴史
  - 2) 「復帰後のフォローアップとして導入した職場定着支援プログラムの評価」：高谷広美
  - 3) 「てんかん疑いで終夜睡眠ポリグラフィ（PSG）を施行したところナルコレプシーが判明した思春期女性例」：小田由美
  - 4) 「リハビリ、ストレングスの退院支援と地域連携～協働という視点で～」：清水陽平
  - 5) 「精神科における思春期電話相談の現状」：高橋典子

#### 院内勉強会

- ・ｸｰﾙ対応と院内ｺﾐｳﾈｰｼｵﾝ
- ・身近にある感染症 ・抗菌薬の基礎
- ・窃盗癖について ・睡眠薬の効果・使用方法
- ・「院内自殺予防と事後対応の研修会」「摂食障害」の報告会

五稜会病院での実践内容については、院外での学会・研究会で発表しています。その際には、患者さんの個人情報保護の対応規定に従っています。病院理念の「臨床研究を行いながら、優れた医療人の育成に努める」を実践するため、皆さまのご理解とご協力をお願いします。

### 患者さんの権利綱領

五稜会病院の職員は、患者さんの次の権利を順守して日々の医療を行います。

- 1 安全で適正な医療を公平・平等に受ける権利
- 2 個人の生き方、信条、尊厳などが尊重される権利
- 3 病状、検査結果、治療方法・結果などについて、納得のいく説明を受ける権利
- 4 十分な説明や情報提供のもとで、どのような医療を受けるかを選択する権利
- 5 如何なる不利益を受けることなく、検査・治療などを拒否する権利
- 6 希望によりセカンドオピニオン（他の医師の意見を聴くこと）を受ける権利
- 7 如何なる場合も、個人情報やプライバシーが守られる権利

### 精神科医療のトピックス

#### ☆精神指定医89人取り消し

精神障害者を強制的に入院させるかどうかの判断をする精神保健指定医の資格を不正に取得していたとして、厚生労働省は医師49人とその指導医40人の計89人について指定医を取り消す方針を固めました。昨年の聖マリアンナ医科大学大病院での精神指定医資格の不正取得発覚を受け、厚生労働省が平成21年以降に資格を取得した指定医3,374人のレポートを再調査した結果で、前例のない大量処分は現場の運用に影響を及ぼす可能性もあります。

⇒札幌市において指定医の不正取得の対象者はおりません。ご安心下さい。我々からみても非常に安易なやり方で資格を取得していると思わざるを得ません。

指定医の資格取得制度自体が実態にあっていないこのことで、厚生労働省は、精神保健指定医の資格審査の方法を見直すことを決めた。資格申請の不正行為が相次いだことを踏まえた措置です。厚生労働省の検討会で、資格審査の問題点や口頭試験を導入するかどうかなどを議論し、審査方法の改善や再発防止に関する意見を取りまとめる見通しです。

### 最近の精神科医療政策のご紹介

平成28年11月11日

#### 社会保障審議会障害者部会（第82回）

#### 精神病床入院者数、1年超の長期に数値目標

厚生労働省は、全国の問題病床に1年以上入院している長期入院患者数について、障害福祉計画の基本指針の目標値として追加する方針を決めました。長期入院患者の地域移行を進めるのが狙いです。11月11日に開かれた社会保障審議会障害者部会に基本指針の成果目標案として示したものです。

精神病床に1年以上入院している患者は約19万人（平成25年時点）。これまで基本指針の目標値には、3カ月時点と1年時点の退院率などが記載されていましたが、1年以上の長期入院患者の人数は示されていませんでした。

平成28年11月11日

#### 第4回これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会

- (1) 新たな地域精神保健医療体制のあり方について
- (2) 精神保健指定医について
- (3) 医療保護入院等のあり方について
1. 医療保護入院制度についてどのように考えるか
2. 医療保護入院の同意のあり方についてどのように考えるか
3. 医療保護入院の必要性・妥当性をどのように審査すべきか
4. 移送を含む医療へのアクセスを確保するための手段について、どのように考えるか
5. 入院中の患者の意思表明支援について、いわゆる「代弁者」のあり方も含めどのように考えるか

### 当院は患者さん本位の医療を提供しようと

考えております。

お気づきの点はお気軽にご相談下さい。

### 治験のご協力をお願い

現在、当院では「統合失調症」に対する薬剤の臨床治験を行っています。創薬（薬を創りだす）は国家戦略の一部です。臨床治験を行わないと、良い薬を世の中に出すことは出来ません。参加される方には負担軽減としての費用を差し上げています。今後、AD/HDの治験も予定しています。詳しく知りたい方は主治医にご相談下さい。

#### 統合失調症

典型的な症状は幻聴と妄想です。最近では主治医から病名の告知もなされています。かつてのような不治の病ではありません。適切な薬物療法が必須です。

また、18歳までの年齢で、統合失調症と診断されている患者さんの治験を実施しています。未成年の場合、親御さんの同意が必要です。

#### AD/HD(注意欠陥多動性障害)

まもなく、治験が開始されます。興味のある方は主治医にお尋ね下さい。

### 五稜会病院 概要

標榜科名：精神科・心療内科・内科・消化器科

病床数	193床
急性期病棟	48床
ｽﾄﾚｽｸﾞ・思春期病棟	48床
療養病棟 A	49床
療養病棟 B	48床

従業員数 約200名

医師数	常勤 6名	非常勤	8名
看護師	84名		
薬剤師	2.5名		
臨床検査技師	2名	非常勤	2名
臨床心理士	8名	非常勤	4名
作業療法士	9名	音楽療法士	1名
精神保健福祉士	10名		

#### 五稜会病院沿革

開設	昭和47年
医療法人開設	平成2年

#### 編集後記

今年もあとわずかとなりました。今年は初雪が早く、寒い日が続いています。インフルエンザも既に流行しているようです。予防接種は済みましたか。五稜会病院で行っていますよ。未施行の人はお早めに申し込みして下さい。

発行：平成28年11月25日

〒002-8029

札幌市北区篠路9条6丁目2-3



発行責任者：広報委員 羽生恵美・清水優子

電話：011-771-5660

http://www.goryokai.com

mail: GMC@goryokai.com

# 第21回日本ストレスケア病棟研究会



平成28年10月15日～16日、第21回日本ストレスケア病棟研究会が開催され、当院では中島理事長はじめスタッフ5名で参加しました。日本ストレスケア病棟研究会は、うつ病を中心としたストレス関連疾患に対して、治療を行う病棟を持つ病院による研究会です。全国では当院を含め22施設が所属しています。

今年「ストレスケア病棟から始まる復職支援」をテーマに福井県で開催されました。

研究会では東京医科大学準教授の市来真彦先生から「ストレスチェック法制化の現状と課題」について、また中国の大慶第三病院院長の姜文海先生から「中国におけるストレスケア病棟」の特別講演がありました。また午後は復職支援に関するシンポジウムや、各病院の取り組みについてグループディスカッションが行われました。

医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士など様々な職種が参加し、職種の枠を超えて意見交換や議論が活発に行われ、各病院の工夫や実践を学ぶことができました。この学会で学んだことをより良い治療に活かしていきたいと思えます。(相談室:吉村)

# 家族会のご案内

ご本人が病気になったことで、ご家族も不安や悩みを抱えることがあります。当院では、同じような体験や悩みを持つご家族が集まる「家族会」を定期的に開催し、他のご家族の方と理解しあうことで、ご家族自身がこのころの回復ができる場を提供しています。他のご家族の対処方法を聞いて参考にしている方や、病気や福祉サービスについて学ぶ機会として活用されている方もいます。参加者からは「自分だけではないという安心感が得られた。」という声もあります。ご家族のための会ですので、ご本人の参加はご遠慮いただいています。参加は無料です。

当院で行っている家族会の内容の一例をご紹介します。詳しい日程表は外来ロビーにて掲示(お持ち帰り用有)しておりますので、ぜひご覧ください。

## 【統合失調症を対象としたご家族の会】

- ・茶話会
- ・「臨床心理士からのお話」

## 【病気の勉強会】

- ・「統合失調症の回復過程」
- ・「制度・サービスについての学習会」

## 【思春期家族会】

- ・茶話会
- ・「デイケアプログラム(アロマ)を体験」

家族会に関するお問い合わせは、地域生活支援室:清水・外来看護師:工藤まで。



## 院内保育園

## 『歩歩キッズ』のご紹介



五稜会病院に勤務する従業員の仕事と家庭の両立、働きやすい職場環境造りの一環としてH19.4.1に開設し、これまでに計56名のお子様をお預かりいたしました。仕事と子育てを両立するみなさんを応援し、安心してお子様を預けられる保育園を目指しています。

今回は毎年恒例となっている季節行事『ハロウィン』について実際に歩歩キッズを利用している職員から感想を伺いました。

毎年、保育士さん手作りの衣装を着て仮装をし病院にきてくれています。今年は風が強く寒い日だったので、正面玄関の中に入り「トリック・オア・トリート!!」とかわいい声が聞こえてきました。自分達で作ったお菓子入れに、職員さんや家族からいっぱいのお菓子をもらい、子どもたちも嬉しそうでした。

記念撮影では、いつもバリバリ仕事をこなす職員もこの時間だけはママの顔です。帰る時に、「ママから離れたくないなあ...」とくっついてる姿もあり...今年もほのぼのハロウィンを楽しむことができました。

(看護師:川村)

この他にも季節に合わせた様々な行事を行っています。随時ご紹介していけたらと思っています。